

NACISIS-ILLデータからみる わが国の高等教育における 看護等関連文献整備の状況

土屋俊
(千葉大学)

日本における看護文献提供環境の改善に関する検討会
2006年11月30日
(千葉大学看護学部)

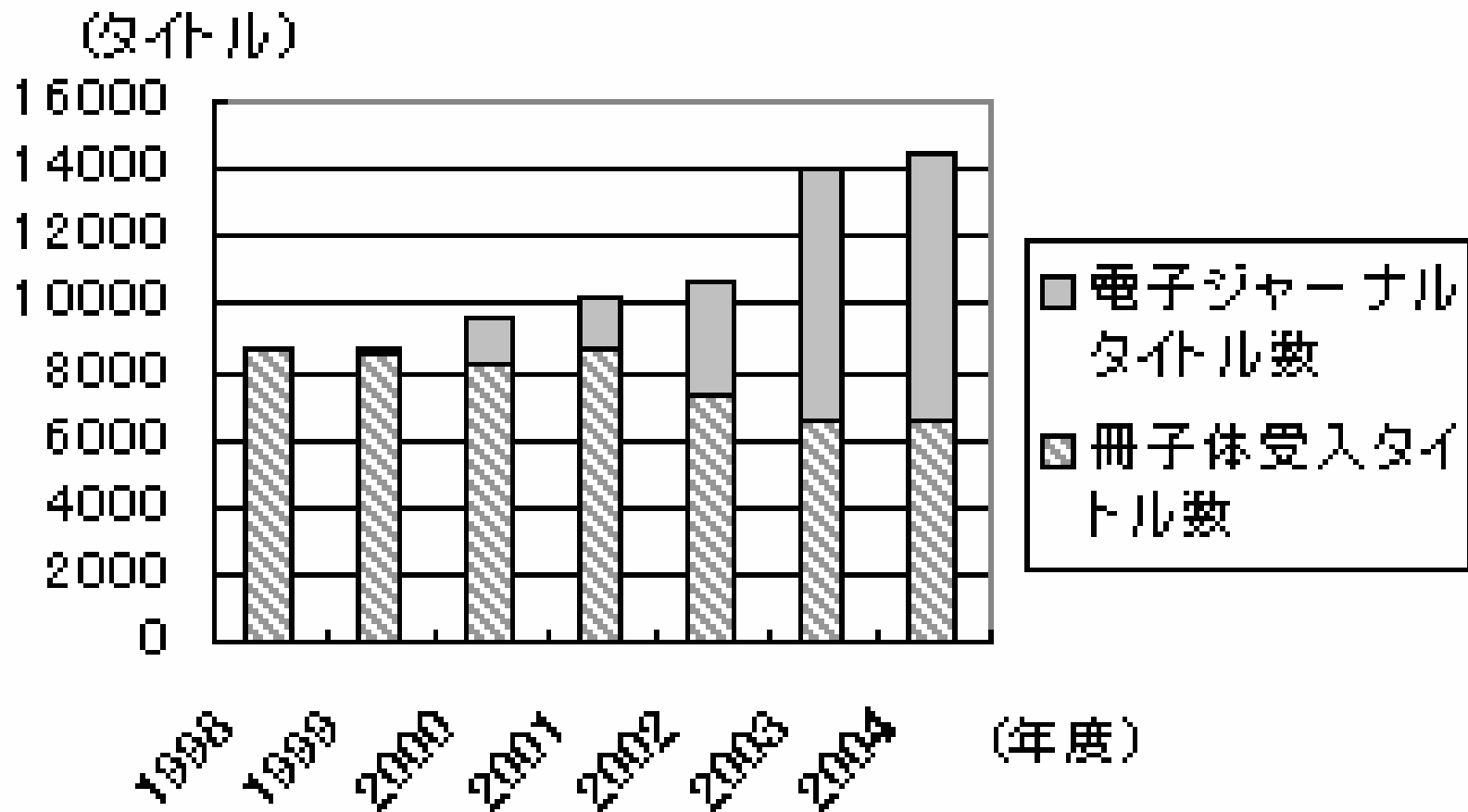
話題

- 千葉大学附属図書館亥鼻分館の発見
- NACSIS-ILLとは
- NACSIS-ILLの変貌：1990年代から2000年代へ
 - 洋雑誌論文への依頼の減少
 - 和雑誌論文への依頼の増加⇒増加は看護系に集中
- 看護系図書館におけるILLの状況
- 看護系タイトルの動向
- そもそも、図書館におけるILL業務とは？(武内)
- 亥鼻分館における現況(武内)

亥鼻分館の発見

- 電子ジャーナル・ビッグ・ディールによる利用可能タイトル数の増加
- その割りに減らないILL学外依頼件数
- 依頼者所属の変化
- 依頼論文種別の変化
- 依頼タイトルの変化
- 依頼タイトル種別の変化

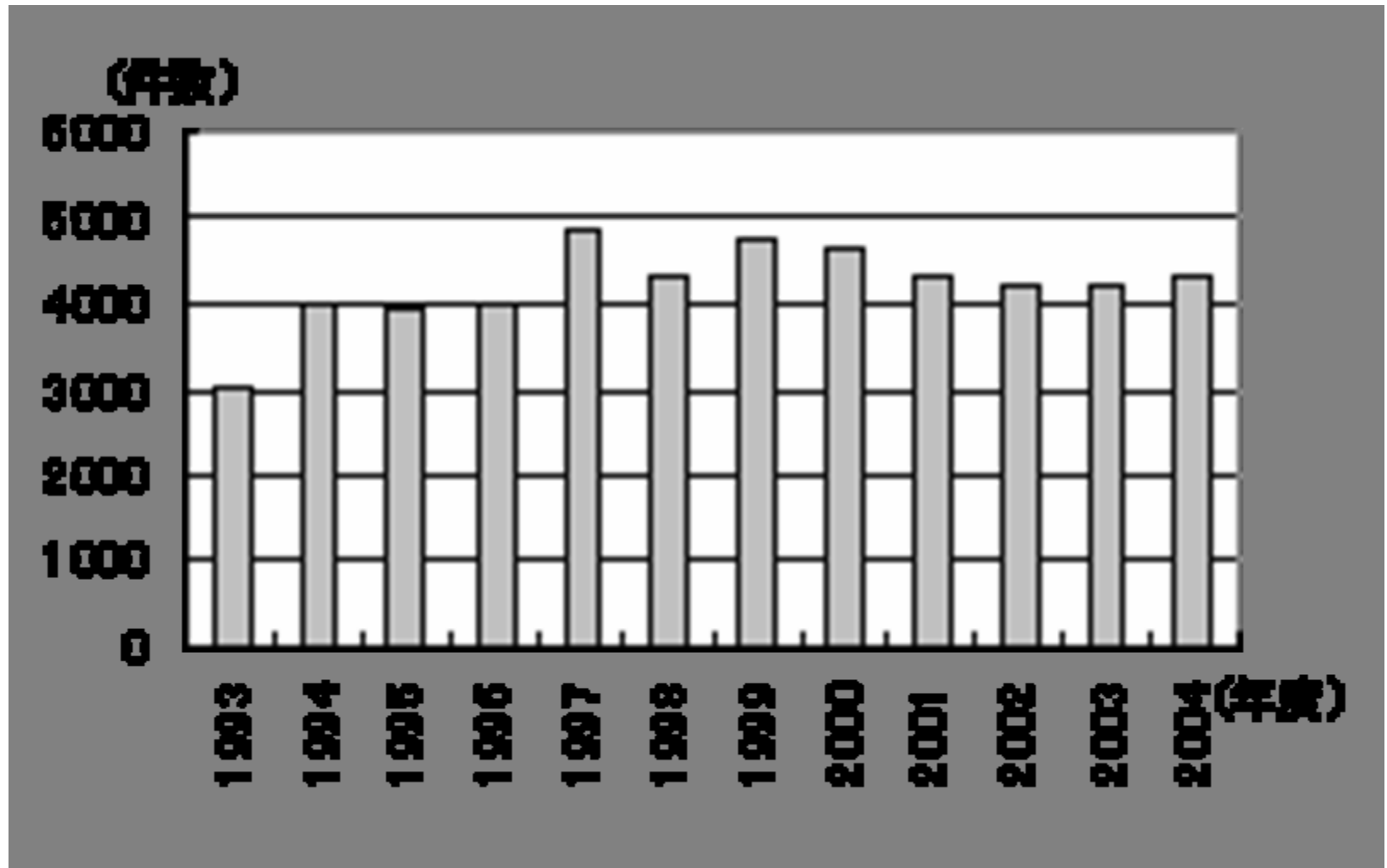
千葉大学における 利用可能タイトル数の増加



亥鼻分館の発見

- 電子ジャーナル・ビッグ・ディールによる利用可能タイトル数の増加
- その割りに減らないILL学外依頼件数
- 依頼者所属の変化
- 依頼論文種別の変化
- 依頼タイトルの変化

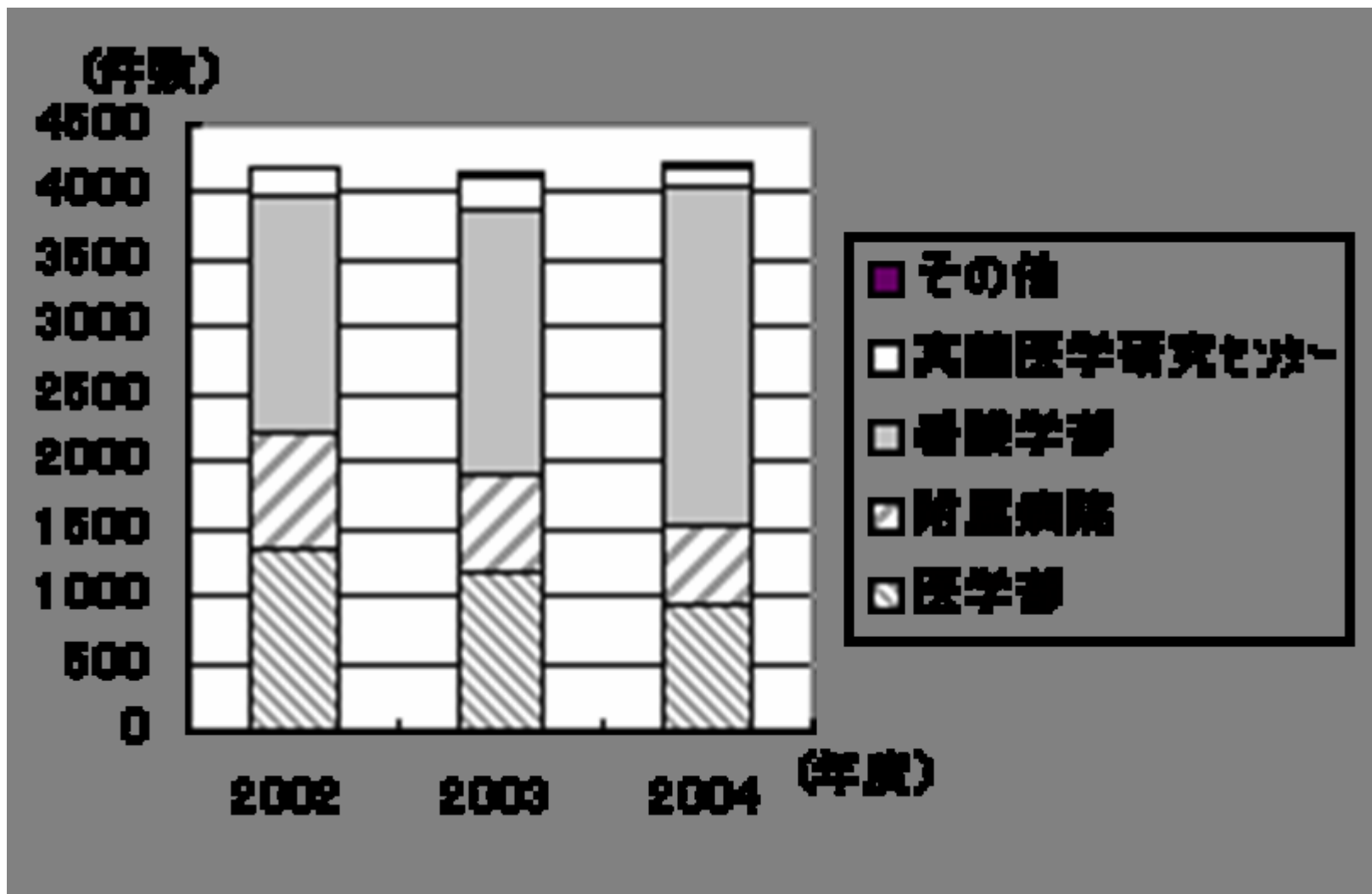
学外依頼件数に減少が見られない！



亥鼻分館の発見

- 電子ジャーナル・ビッグ・ディールによる利用可能タイトル数の増加
- その割りに減らないILL学外依頼件数
- 依頼者所属の変化
- 依頼論文種別の変化
- 依頼タイトルの変化

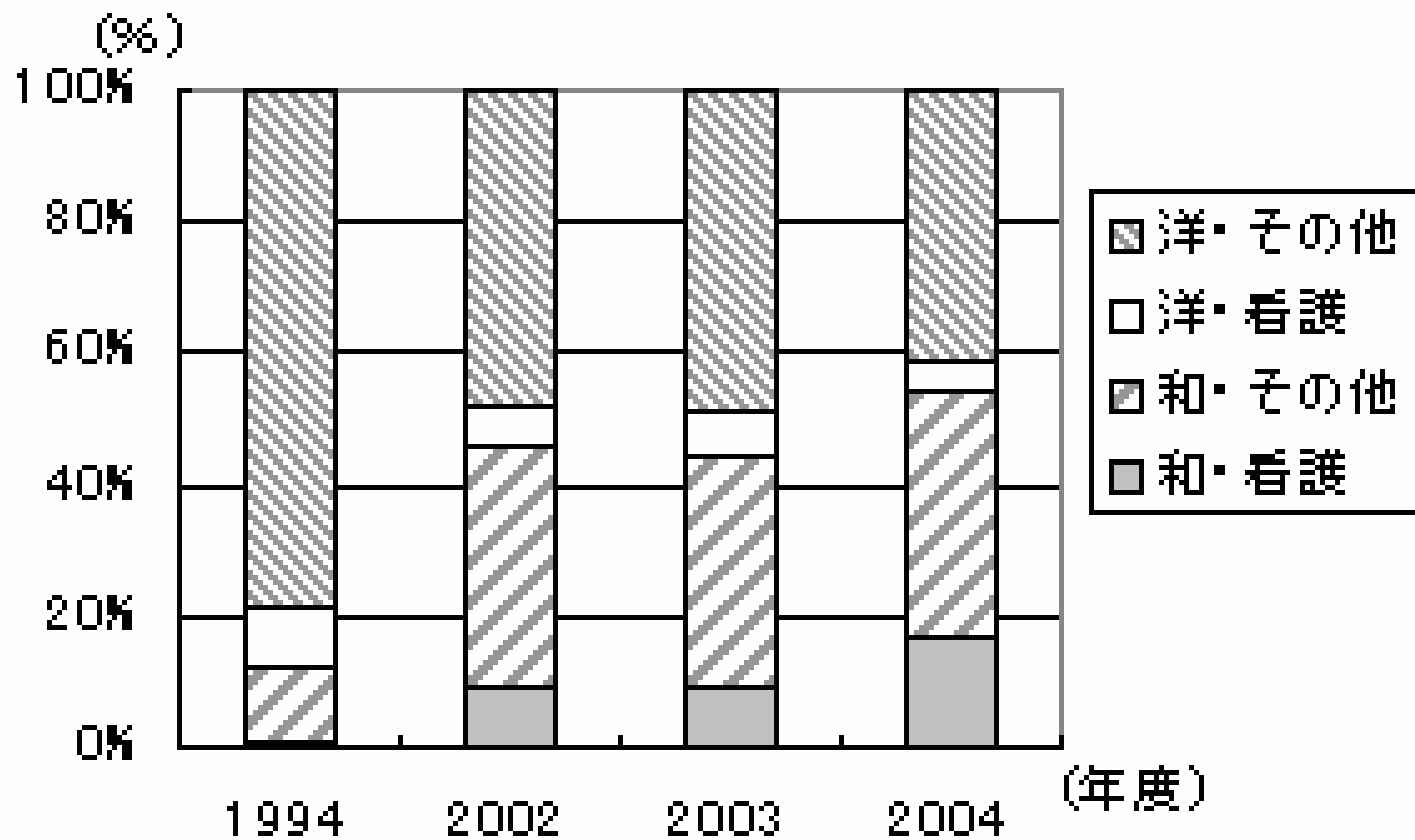
看護学部からの依頼の増加が目立つ



亥鼻分館の発見

- 電子ジャーナル・ビッグ・ディールによる利用可能タイトル数の増加
- その割りに減らないILL学外依頼件数
- 依頼者所属の変化
- 依頼論文種別の変化
- 依頼タイトルの変化

依頼する看護系論文は2000年代に 多くなっている



亥鼻分館の発見

- 電子ジャーナル・ビッグ・ディールによる利用可能タイトル数の増加
- その割りに減らないILL学外依頼件数
- 依頼者所属の変化
- 依頼論文種別の変化
- 依頼タイトルの変化

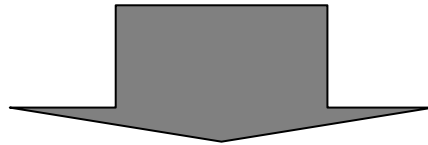
タイトルを見てみると

表 1 依頼件数 上位 10 タイトル

	1994 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度
1	Genomics	死の臨床	Journal of nursing staff development	月刊ナースマネジャー
2	Social science & medicine	整形外科と災害外科	日本看護科学学会学術集会講演集	整形外科看護
3	Canadian nurse	保健婦雑誌	日本助産学会誌	日本看護学教育学会誌
4	日本小児外科学会雑誌	日本重症心身障害学会誌	外来看護新時代	Heart nursing : ハートナーシング
5	Glia	医療. 増刊号	死の臨床	慢性疼痛
6	Nature genetics	日本リハビリテーション看護学会集録	Journal of rheumatology.	死の臨床
7	日本ストーマリハビリテーション学会誌	Dissertation abstracts international. A	臨床老年看護	日本精神科看護学会誌
8	Cytogenetics and cell genetics	Urological nursing = ウロ・ナーシング	医療. 増刊号	日本看護科学学会学術集会講演集
9	Journal of clinical pathology / Image / Health care for women international	Nurse education today	早期大腸癌	日本リハビリテーション看護学会集録
10		消化器内視鏡の進歩	Current biology	外来看護新時代

亥鼻分館の発見

- 電子ジャーナル・ビッグ・ディールによる利用可能タイトル数の増加
- その割りに減らないILL学外依頼件数
- 依頼者所属の変化
- 依頼論文種別の変化
- 依頼タイトルの変化

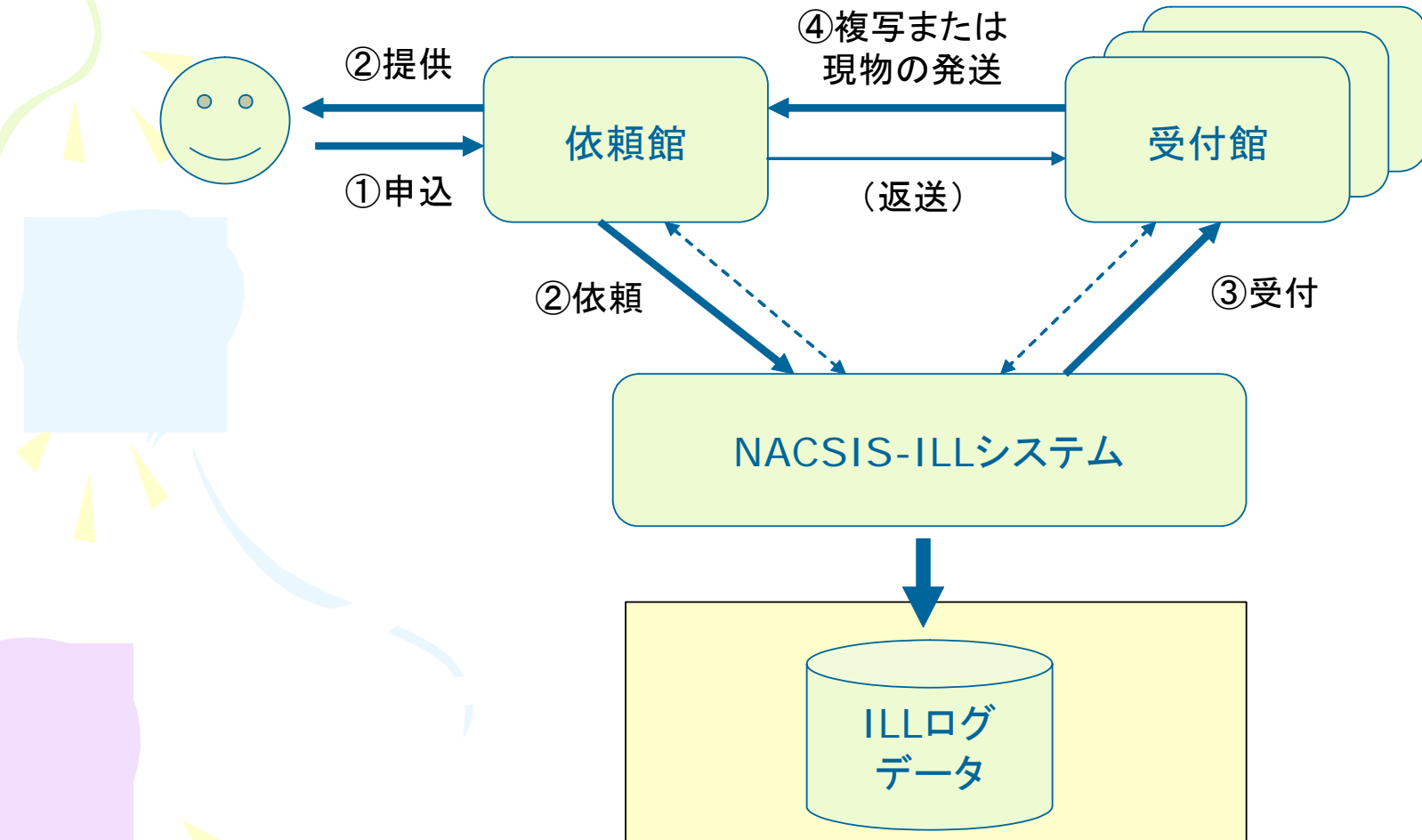


各大学における看護分野の研究活動を支援するためのコレクション構築という点において、新設看護大学図書館あるいは新たに看護分野のコレクション構築を始めた大学図書館だけではなく、長い伝統を持つ大学図書館にも不十分な点があることが本研究によって示された。このことは看護分野における文献供給体制の改善を個別館レベルのみならず大学図書館全体の問題として検討する必要があることを示唆している。(米田奈穂，武内八重子ほか「ビッグ・ディール後のILL－千葉大学附属図書館亥鼻分館における調査－」『大学図書館研究』(2006年))

全国規模の学術情報共有システムとしてのNACSIS-ILL

- 前史：大学図書館間協力と政策的資料収集
 - (官立)医学大学図書館によるもの(1927年、1951年等)
 - 外国雑誌センター館(国立国会図書館、原子力研究所、JICSTに加えて)
 - 「学術情報システム」(1980年学術審議会答申)
 - ⇒ 学術情報センター ⇒ NACSIS-ILL
- 1980年代：国際的「シリアルズ・クライシス」
 - 円高傾向であり自覚は高まっていなかったらしいが、さまざまな動き(ILL関係論文の増加、NACSIS創設等)
- 1990年代：
 - NACSIS-ILLの稼動と増加(約400000万件がシステムへ)
- 2000年代：
 - 「電子ジャーナル」化との関係

NACSIS-ILLシステム



日本の大学における文献需要の80%以上に対応

- どの程度をカバーしているのか(2003年調査)
(大学図書館実態調査を基礎として。

JST,NDL関係なく)

– (依頼)大学図書館	→	国内の大学図書館	1,094,353
大学図書館	→	国内のその他	83,213
大学図書館	→	国外	15,025
			1,192,291

(NACSIS分 975,850)

(受付)国内の大学図書館	→	大学図書館	1,167,381
国内のその他	→	大学図書館	272,096
国外	→	大学図書館	1,420
			1,440,89

(NACSIS分 993,558)

- 2003年度のNACSIS-ILL参加機関は、国立87、公立74、私立456。差は91大学(早稲田も慶應も2004年4月1日参加)
- 受付の45万件の中には病院等からの直接依頼が多い(はず)

ILLログデータ(サンプル)

@@@@@

ID = LA0112109879
CRTDT = 20040802
RNWDT = 20040803
BSFLG = S
STAT = 確認

~~~~~

ODATE = 20040802  
ADATE = 20040802  
SDATE = 20040802  
RDATE = 20040803  
OMLID = FA000106  
OMLNM = 東工大岡  
AMLID = FA001415  
AMLNM = 東北大工  
SRVCE = C  
BIBID = AA1049953X  
BIBNT = Advances in biochemical engineering/biotechnology. -- Springer-Verlag, 1983-  
STDNO = ISSN=07246145,CODEN=ABEBDZ  
YEAR = 2004

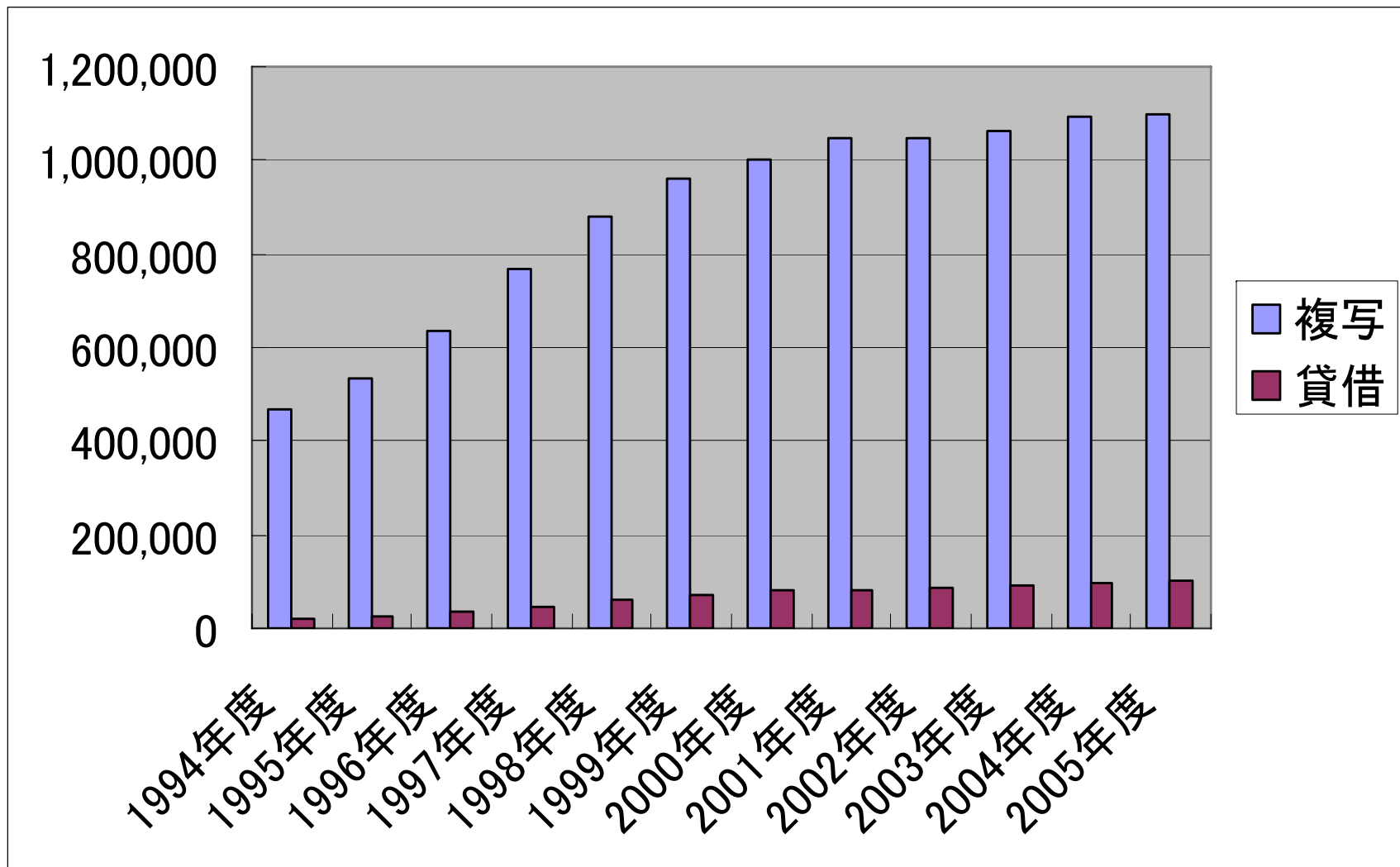
~~~~~

ZFLG = 1
OMLIDS = FA000106確認
AMLIDS = FA001415確認
@@@@@
ID = LA0112133206

主な事実

- 複写が貸借より圧倒的に多いという特殊性
- 依頼側充足率、所要日数とも信頼できる制度構築に寄与
- 1990年代には扱ひ量が順調に増えたが、2000年前後以降から微増の状況。貸借は一貫して増加
- 依頼先選択傾向は終始一貫
- 和雑誌への複写依頼が洋雑誌へのそれを逆転
 - － 洋雑誌依頼減は、電子ジャーナルのビッグ・ディール導入による
 - － コメディカル系和雑誌への依頼が急増⇒相殺して微増
- ⇒ 大学図書館間協力の変質

複写 >>>>>> 貸借

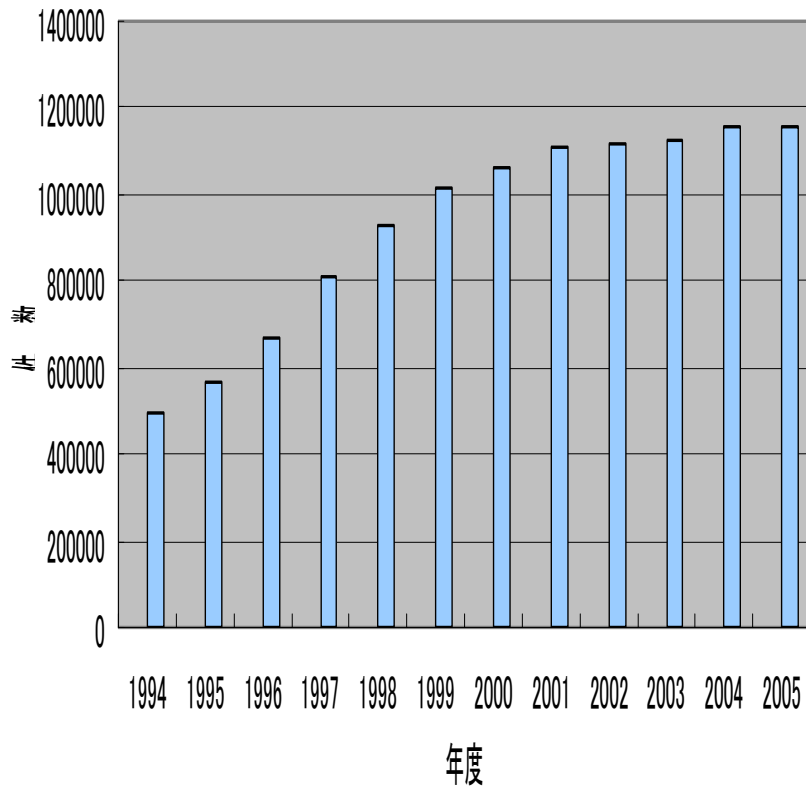


主な事実

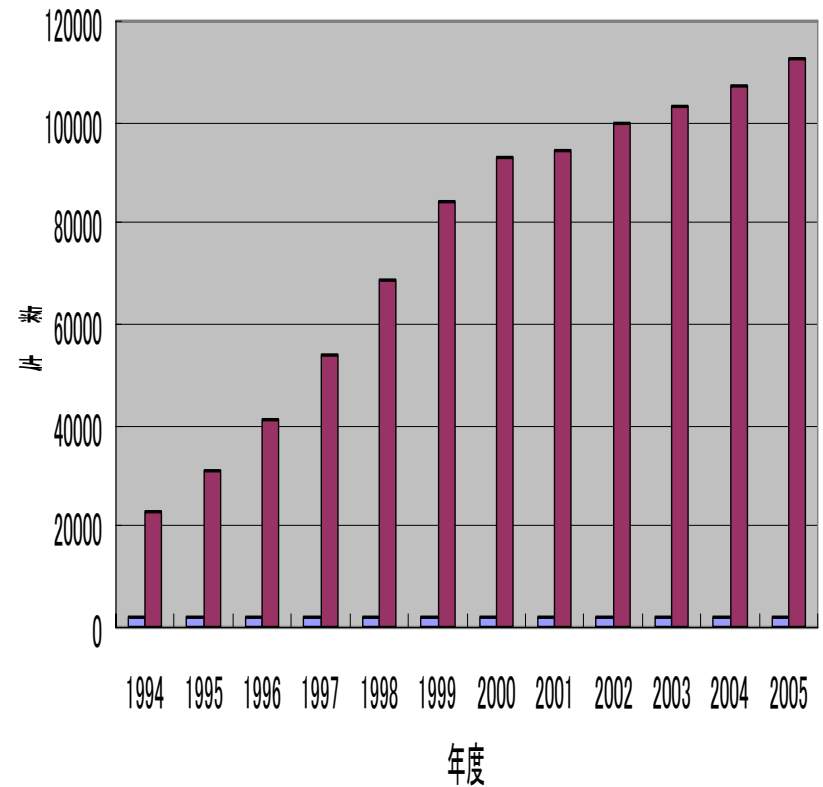
- 複写が貸借より圧倒的に多いという特殊性
- 依頼側充足率、所要日数とも信頼できる制度構築に寄与
- 1990年代には扱ひ量が順調に増えたが、2000年前後以降から微増の状況。貸借は一貫して増加
- 依頼先選択傾向は終始一貫
- 和雑誌への複写依頼が洋雑誌へのそれを逆転
 - － 洋雑誌依頼減は、電子ジャーナルのビッグ・ディール導入による
 - － コメディカル系和雑誌への依頼が急増⇒相殺して微増
- ⇒ 大学図書館間協力の変質

90年代から2000年代への変化

複写件数の変化



現物貸借の変化



主な事実

- 複写が貸借より圧倒的に多いという特殊性
- 依頼側充足率、所要日数とも信頼できる制度構築に寄与
- 1990年代には扱い量が順調に増えたが、2000年前後以降から微増の状況。貸借は一貫して増加
- 依頼先選択傾向は終始一貫
- 和雑誌への複写依頼が洋雑誌へのそれを逆転
 - － 洋雑誌依頼減は、電子ジャーナルのビッグ・ディール導入による
 - － コメディカル系和雑誌への依頼が急増⇒相殺して微増
- ⇒ 大学図書館間協力の変質

信頼できる制度の構築

種別		複写				貸借				全体		
年度		終了	キャンセル	合計	充足率	終了	キャンセル	合計	充足率	コード合 計	総レコー ド件数	others
1994年度	平成6年度	468,321	24,506	492,827	95.0%	19,373	3,855	23,228	83.4%	516,055	516,075	20
1995年度	平成7年度	535,229	28,467	563,696	94.9%	26,414	4,735	31,149	84.8%	594,845	594,883	38
1996年度	平成8年度	637,860	34,096	671,956	94.9%	35,113	5,906	41,019	85.6%	712,975	712,976	1
1997年度	平成9年度	768,598	38,631	807,229	95.2%	46,319	7,547	53,866	86.0%	861,095	861,096	1
1998年度	平成10年度	881,786	44,436	926,222	95.2%	59,826	9,174	69,000	86.7%	995,222	1,012,209	16,987
1999年度	平成11年度	960,456	52,551	1,013,007	94.8%	72,988	11,324	84,312	86.6%	1,097,319	1,098,692	1,373
2000年度	平成12年度	1,000,412	59,894	1,060,306	94.4%	81,554	11,720	93,274	87.4%	1,153,580	1,156,438	2,858
2001年度	平成13年度	1,045,082	64,373	1,109,455	94.2%	82,521	11,631	94,152	87.6%	1,203,607	1,215,675	12,068
2002年度	平成14年度	1,045,366	68,076	1,113,442	93.9%	87,324	12,191	99,515	87.7%	1,212,957	1,232,239	19,282
2003年度	平成15年度	1,061,378	63,572	1,124,950	94.3%	91,387	12,021	103,408	88.4%	1,228,358	1,242,711	14,353
2004年度	平成16年度	1,092,116	60,428	1,152,544	94.8%	96,078	11,354	107,432	89.4%	1,259,976	1,265,260	5,284
2005年度	平成17年度	1,099,744	56,336	1,156,080	95.1%	100,668	11,877	112,545	89.4%	1,268,625	1,292,128	23,503

複写 (オーダーから資料到着までの所要日数)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
平均	8.70	8.55	8.26	8.68	8.03	8.24	7.34	7.26	6.56	5.79	5.29	4.90
最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最大	1,111	1,468	1,833	1,836	1,830	1,959	1,161	1,830	1,591	1,830	1,104	1,481
10パーセンタイル	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
25パーセンタイル	4	4	4	3	4	4	4	3	3	3	3	3
50パーセンタイル	7	6	6	6	6	6	6	5	5	5	4	4
75パーセンタイル	10	10	9	6	8	9	8	8	7	7	6	6
90パーセンタイル	16	16	15	15	14	14	13	12	11	10	9	8
95パーセンタイル	25	23	21	22	20	20	17	16	14	13	12	11

現物貸借 (オーダーから資料到着までの所要日数)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
平均	10.34	9.29	8.07	7.41	6.87	6.59	6.23	5.77	5.41	4.97	4.62	4.27
最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最大	506	368	398	371	867	315	1,111	1,660	1,103	1,194	1,103	854
10パーセンタイル	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1
25パーセンタイル	5	5	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2
50パーセンタイル	7	7	6	6	6	5	5	5	5	4	4	4
75パーセンタイル	12	11	10	8	8	7	7	7	6	6	6	5
90パーセンタイル	21	19	15	14	13	12	11	10	10	8	8	7
95パーセンタイル	28	25	21	18	16	16	14	13	13	11	11	10

※数字の単位はすべて日数

主な事実

- 複写が貸借より圧倒的に多いという特殊性
- 依頼側充足率、所要日数とも信頼できる制度構築に寄与
- 1990年代には扱ひ量が順調に増えたが、2000年前後以降から微増の状況。貸借は一貫して増加
- 依頼先選択傾向は終始一貫
- 和雑誌への複写依頼が洋雑誌へのそれを逆転

依頼先選択パターンの一貫性

1. 国立、私立
2. 文系、理工系、農学系、医学系
3. 地域（北海道、関東、関西、中部、九州など）
4. 大学グループ（北海道教育大, 北大など）

クラスター分析の結果

(1) 系列法人1 [5]

**大
**大農
**大工
**大生
**大産

(2) 関西私立文系 [63]

関西学院大
同志社大
立命館大
大阪市立大
関西大
大阪府立大
京都産業大

(3) 国立総合系 [77]

*九州地区を除く

東北大
東京学芸大
奈良女子大
歴史博
信州大
信州大教
一橋大

(4) 国立農学系 [14]

東京海洋大
千葉大松戸
茨城大農
東北大農
東北大北
東京農工大
信州大農

(5) 関東私立文系 [93]

青学大青山
明治学院大
実践女子大
学習院大
常盤大

(6) 関東私立理工系 [32]

日大生産
帝京科学大
東京工芸大
東洋大工
愛知工大
早稲田大理工

クラスター分析の結果(2)

(7)西日本私立理工系 [30]

岡山理科大
中部大
倉敷芸科大
福岡大
福山大
竜谷大瀬田

(8)西日本国立総合系 [16]

高知大
香川大
広島大中央
広島大西
島根大
愛媛大

(9)中部私立文系 [12]

東海女子大
山梨県女子短大
久留米大御井
南山短大
富士常葉大

(10)北海道教育大 [5]

北教大釧路
北海道教育大
北教大岩見沢
北教大旭川
北教大函館

(11)東日本国立医学系 [29] * 関西以北

新潟大旭
山梨大医
浜松医科大
群馬大医
千葉大猪鼻

(12)北海道私立文系 [12]

* 一部の東北地区を含む

藤女子大花川
北星学園大
青森公立大
新潟経営大
札幌大谷短大
札幌学院大

クラスター分析の結果(3)

(13)九州国立総合系 [22]

宮崎大
佐賀大
九州大芸
福岡教育大
大分大
長崎大

(14)西日本国立医学系 [20]

島根大医
香川大医
琉球大医
鳥取大医
高知大医
山口大医

(15)中四国私立文系 [22]

広島修道大
徳山大
県広島女子大
広島女学院大
就実大
清心女子大

(16)私立医学系 [44]

福岡大医
東京女子医大
東京医科大
福島医大
九州歯科大

(17)北海道大 [12] * 医を含む

北大理
北大農
北大電
北大獣
北大地

(18)国立理工系 [42]

北陸先端大
豊橋技科大
信州大繊維
名工大
静岡大浜松

クラスター分析の結果(4)

(19)九州私立文系 [19]

(20)系列法人2 [4] * 医系を除く

鹿児島女子短大

沖縄大

北九州大

熊本学園大

鹿児島国際大

九州ルーテル大

** 大清水

** 大湘南

** 大沼津

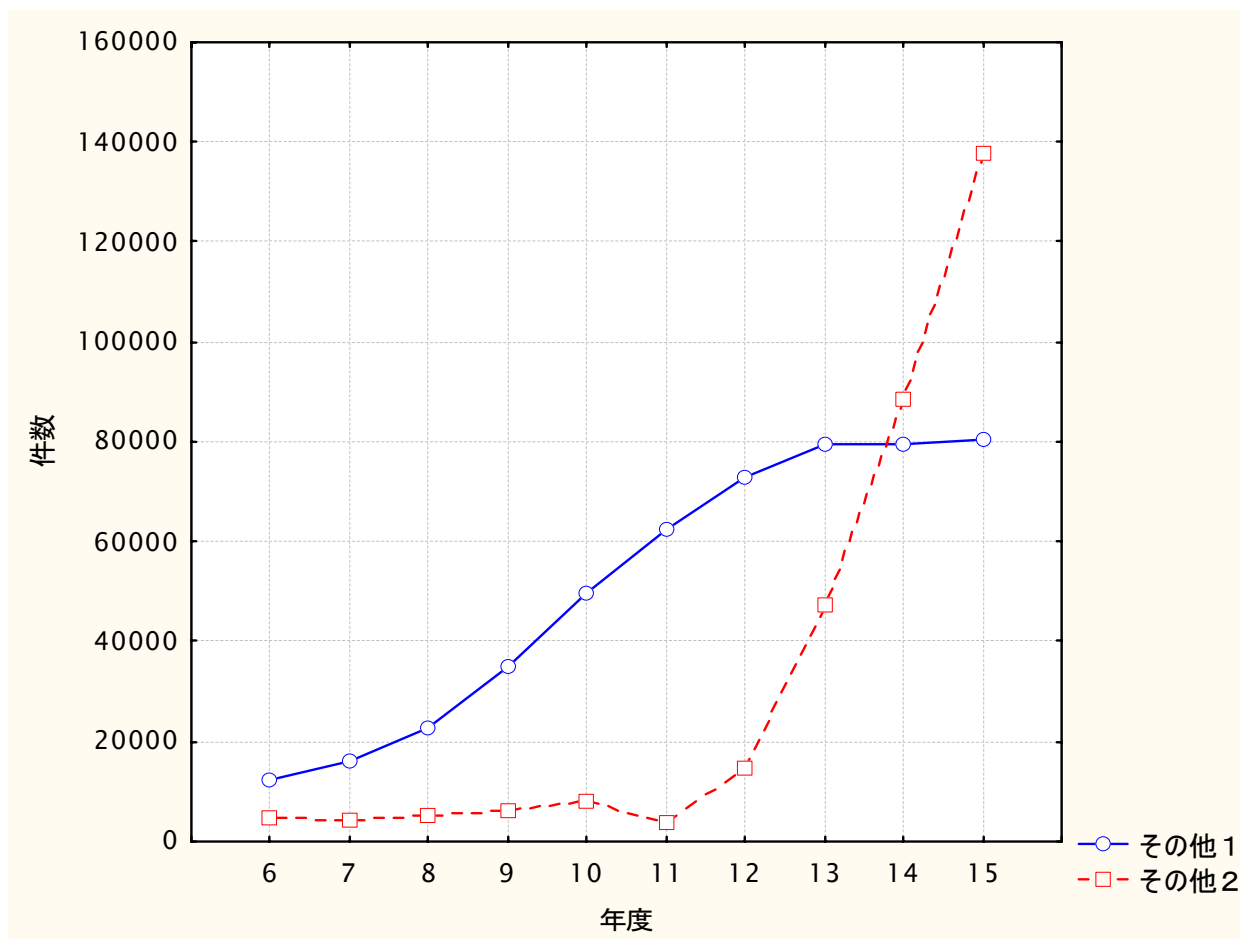
** 大代々木

ただし、NDL、BLDSCおよび理化学研は、それぞれ単一クラスターとした

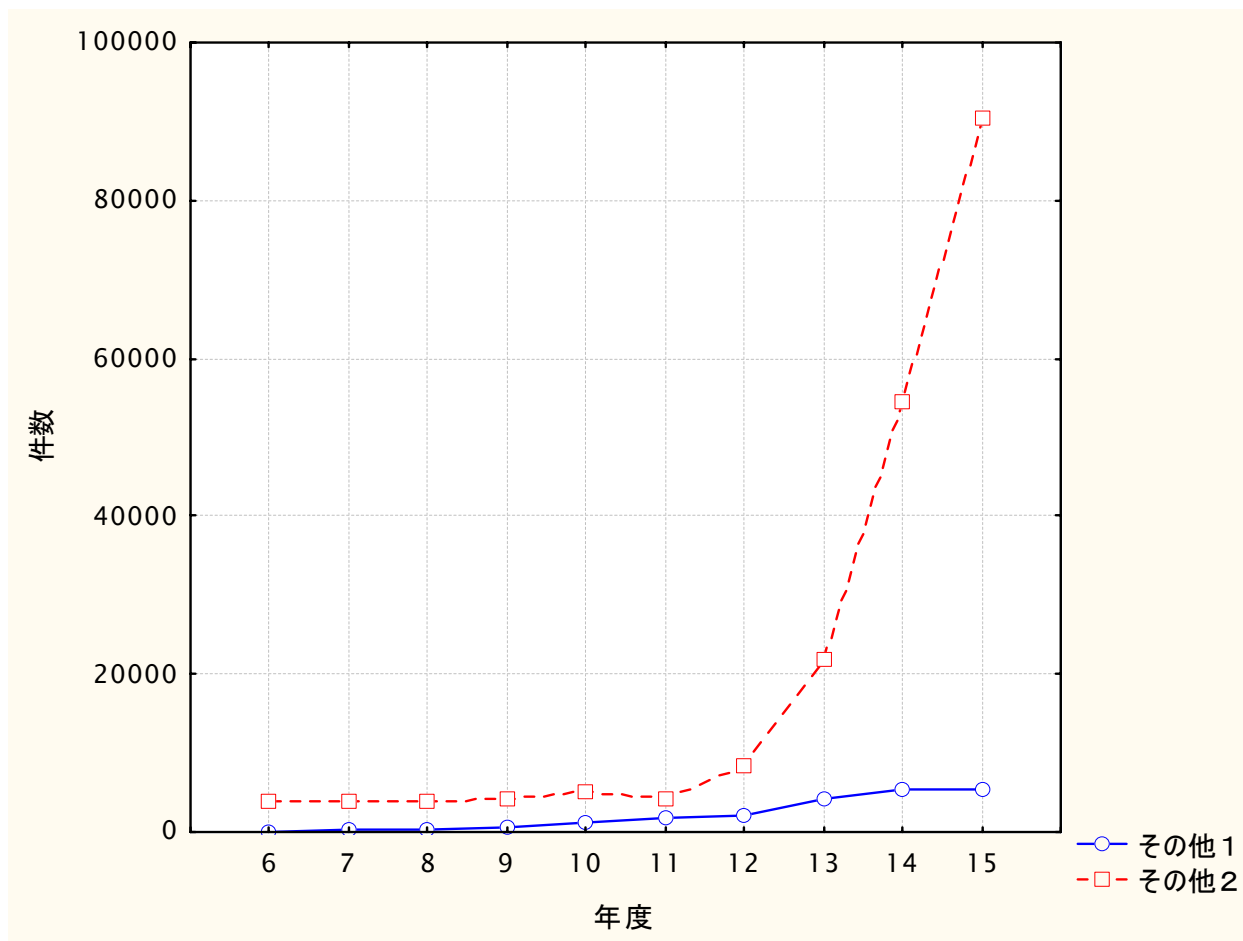
その他1 = 分析においてクラスターに含まれなかった対象のクラスター(172参加館)。たとえば、専ら「依頼」だけを行った参加館

その他2 = 分析に含めなかった対象からなるクラスター(新規参入館)
主として、この間に新設された公立看護系大学

その他のクラスターにおける 処理件数の変化(需要)



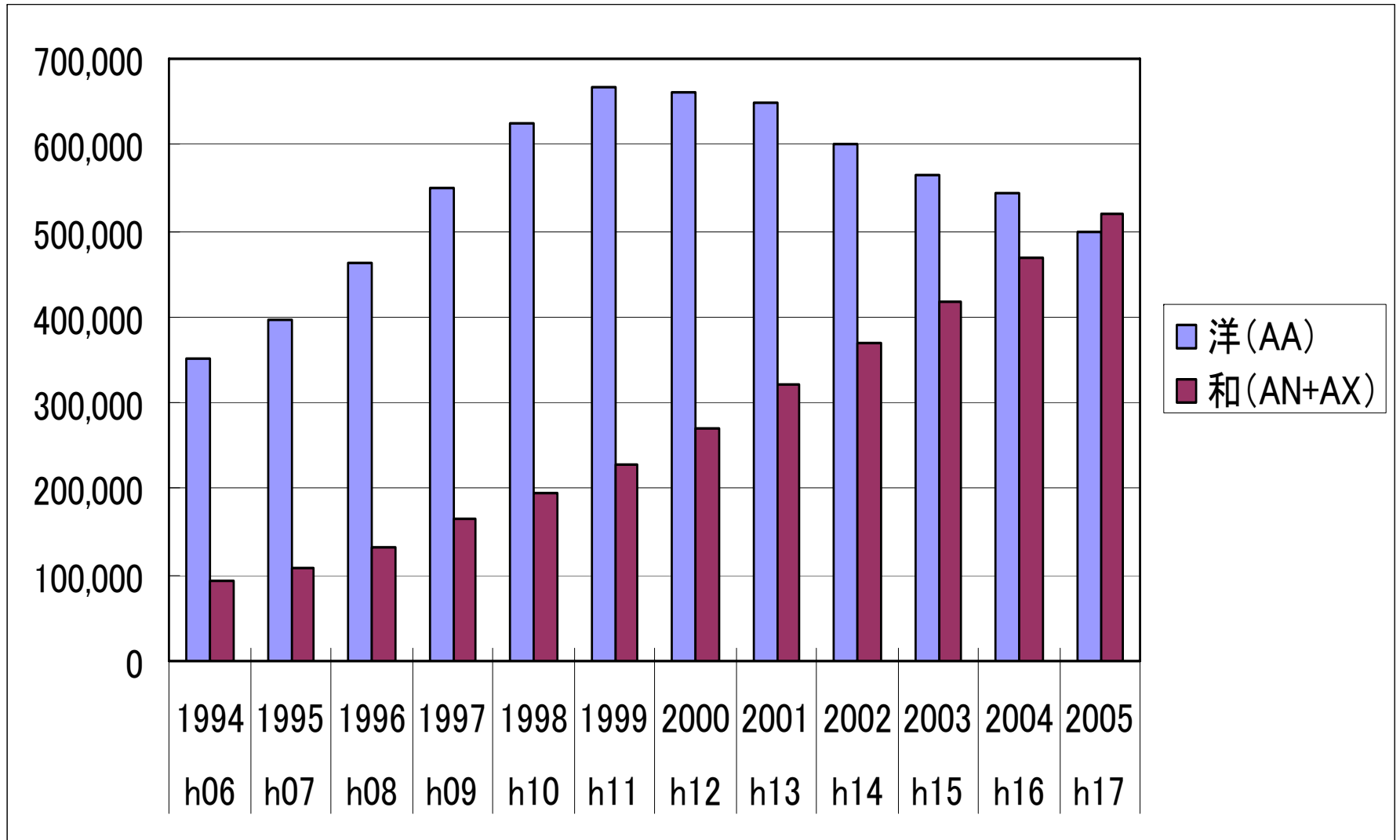
その他のクラスターにおける 処理件数の変化(供給)



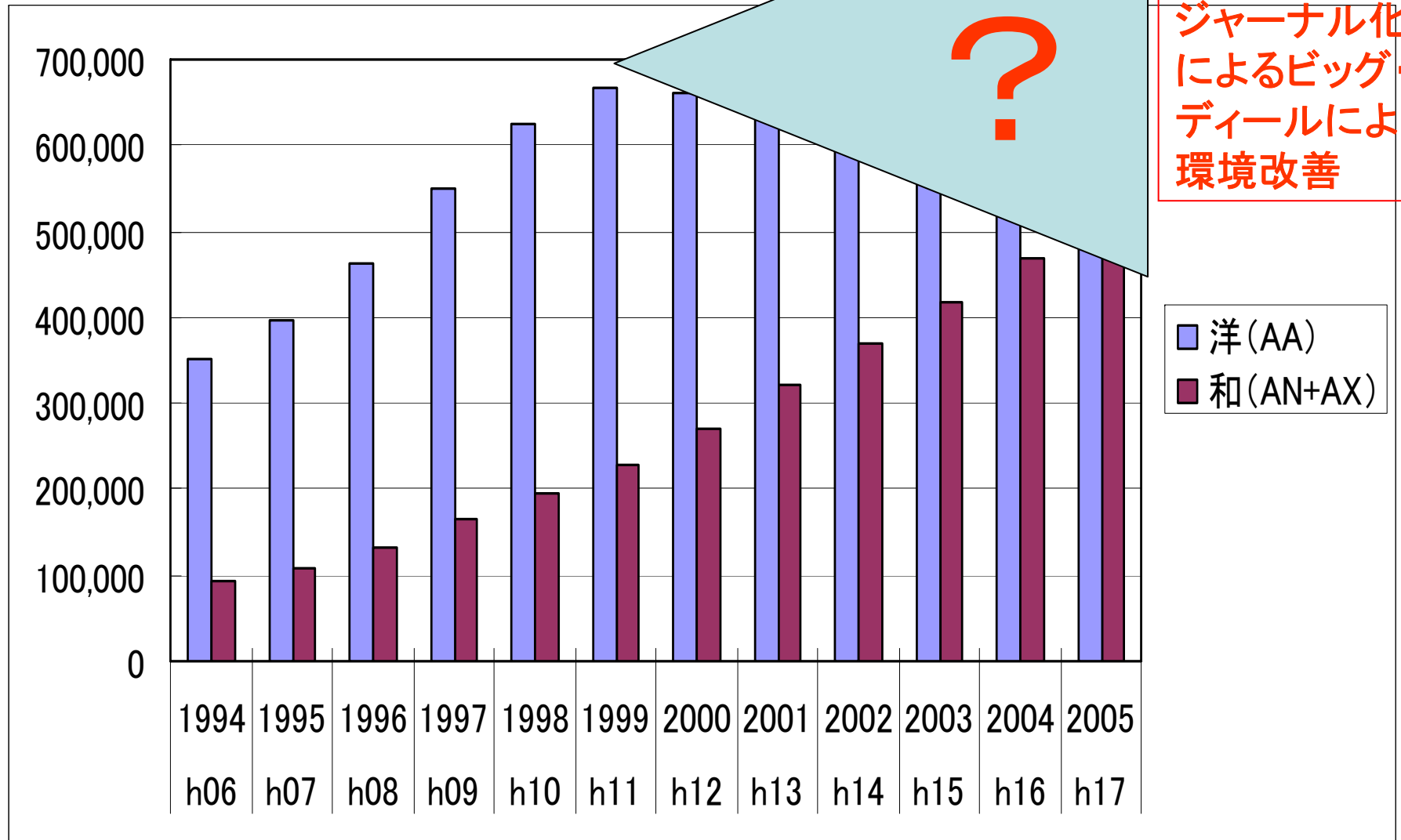
主な事実

- 複写が貸借より圧倒的に多いという特殊性
- 依頼側充足率、所要日数とも信頼できる制度構築に寄与
- 1990年代には扱ひ量が順調に増えたが、2000年前後以降から微増の状況。貸借は一貫して増加
- 依頼先選択傾向は終始一貫
- 和雑誌への複写依頼が洋雑誌へのそれを逆転
 - － 洋雑誌依頼減は、電子ジャーナルのビッグ・ディール導入による
 - － コメディカル系和雑誌への依頼が急増⇒相殺して微増

和雑誌への依頼が洋雑誌への依頼を 2005年に抜いた



和雑誌への依頼が洋雑誌への依頼を 2005年に抜いた



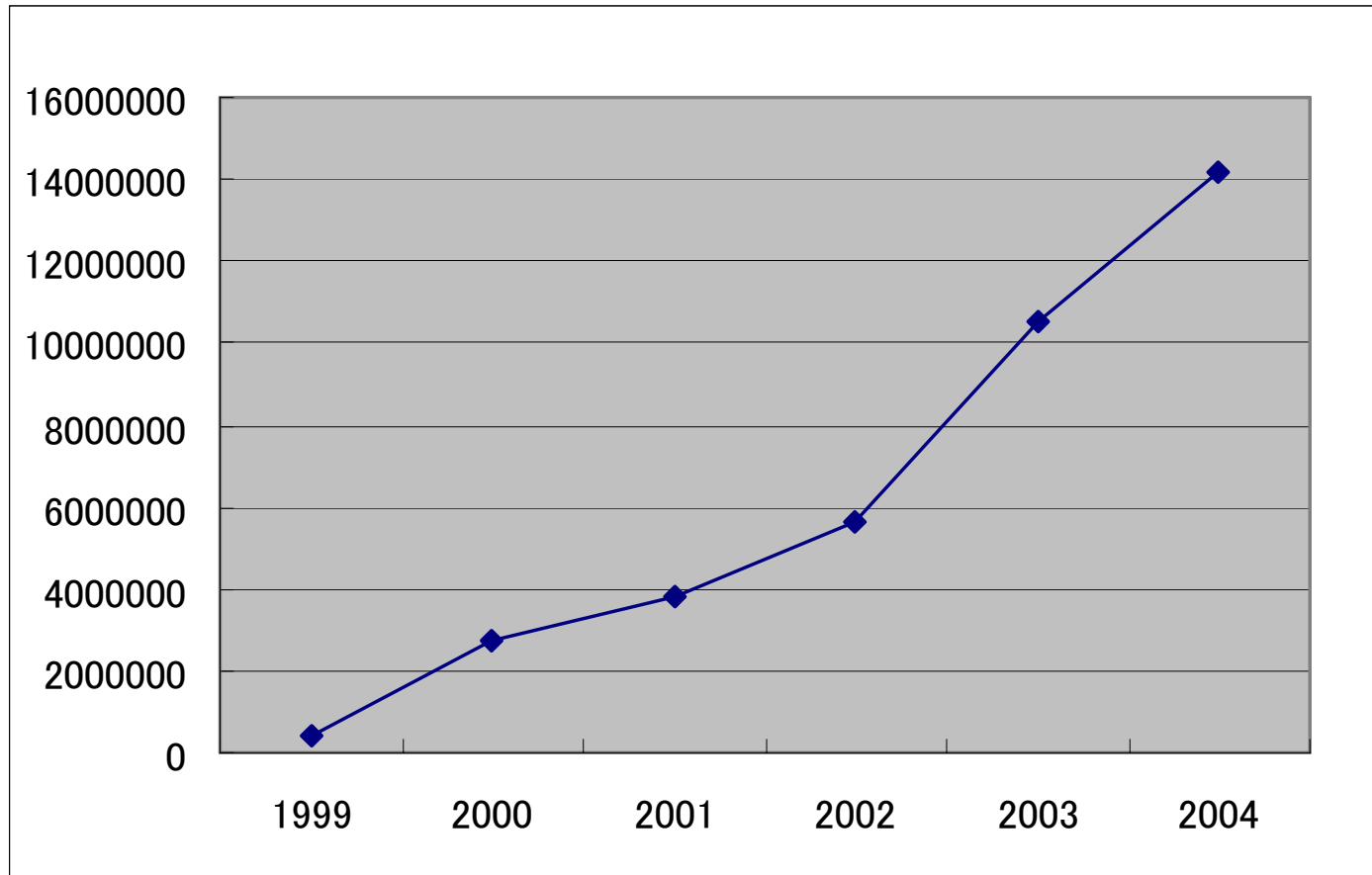
直観的な変化

1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
Nucleic ac Oncogene. Nucleic ac Nucleic ac Biochimica Biochimica Biochimica Anticancer Anticancer	日本精神科	日本精神科	日本精神科								
Oncogene. Nucleic ac Gene : an iGene : an iGene : an iAnticancer Anticancer Biochimica Annals of tAnnals of tAnn N Y A	日本看護研										
Genomics. Biochimica Biochimica Oncogene. Anticancer Annals of tAnnals of tAnnals of tBiochimica Anticancer	老年精神医	老年精神医	老年精神医								
Journal of Gene : an iOncogene. Biochimica Nucleic ac Oncogene. Advances iNeurorepor	日本精神科	母性衛生 / 母性衛生	母性衛生 /								
FEBS lette FerroelectrGenomics. Genomics. Advances iGene : an iGene : an iLangmuir : NeuroreporBiochimica	日本看護研	小児保健研									
Gene : an iGenomics. FEBS lette NeuroreporOncogene. Advances iAmerican jJournal of	看護教育研	老年精神医	日本公衆衛	Annals of t							
Brain reseFEBS lette Tetrahedro Human mo Genomics. NeuroreporElectropho Electropho	Proceeding	小児保健研	小児保健研	日本公衆衛							
Biochimica Human mo NeuroreporFEBS lette FEBS lette Current bicNeuroreporGene : an iAnalytical k	日本公衆衛	Anticancer	カウンセリ								
Analytical kProceedingBrain reseProceedingNeuroreporNucleic ac Tetrahedro Tetrahedro	日本公衆衛	看護教育研	看護教育研	日本老年医							
The EMBO Journal of American jThe JournAnnals of tFEBS lette Journal of ProceedingThe journa	日経アーキ	カウンセリ	日本看護科								
Annals of tThe JournThe JournAnticancer FEMS micnJournal of FEBS lette American jLangmuir :	日本看護研	Proceeding	Anticancer								
Chemical pBrain reseHuman mo Tetrahedro Current bicGenomics. Journal of Journal of Journal of The journa	Langmuir	学校保健研									
The JournAmerican jProceedingAnnals of tChemical pAmerican jBiochemicAnalytical k	老年精神医	Journal of	日本看護科	作業療法							
The JournAnalytical kEuropean jBrain reseProceedingBrain reseAnalytical kAdvances iTetrahedro	Advances i	日本老年医	Fourth gen								
BiochemicTetrahedro Tetrahedro American jSomething Electropho Langmuir : Journal of The Journ	精神科治療	Neurorepor	精神科治療								
Thin solid fMolecular eAnnals of tThin solid fBrain reseThe JournNucleic ac Molecular iBiochemicLangmuir : Chemical pJournal of											
Human mo Annals of tChemical pEuropean jThe JournProceedingMolecular iFEBS lette	母性衛生 /	Tetrahedro	日本心理学	健康心理学							
Molecular eJournal of Thin solid fAdvances iTetrahedro Molecular iThe journa	老年精神医	Advances i	Proceeding	Oncogene	日本がん看						
Journal of European jThe EMBOThe JournHuman mo Human mo Journal of The journaJournal of Current bicThe Journ	看護教育研		思春期学								
American jChemical pNeuron. Chemical pAmerican jJournal of Genomics. BiochemicCurrent bicNeuroreporJournal of											
European jBiochemicFerroelectrMolecular eThin solid fJournal of Proceeding	日本精神科	Journal of	Analytical k	Biochimica	Langmuir						
Surface scAdvances iJournal of Journal of European jGenes & dChemical pJournal of	Tetrahedro	Synthetic (Advances i	Biochimica								
Journal of The EMBOSynthetic iTetrahedro Journal of CarcinogerThe JournJournal of	大阪毎日新	Journal of	精神科治療	日本心理学							
Neuron. Neuron. Molecular eCurrent bicJournal of Analytical kCarcinogerThe Europ	日本看護研	Tetrahedro	Journal of	Journal of							
Tetrahedro NeuroreporAdvances iGenes & dAnalytical kThe journaCurrent bicInternation	カウンセリ	Journal of	Journal of	小児科臨床							

複写依頼が増えた和雑誌タイトル

	h14	2002	h15	2003	h16	2004	h17	2005
1		901 Anticancer research.	1162 日本精神科看護学会誌 / 日本		2,058 日本精神科看護学会誌		1809 日本精神科看護学会誌	
2		876 Annals of the New York Acade	895 Annals of the New York Acade		1,347 Ann N Y Acad Sci.		1337 日本看護研究学会雑誌	
3		780 Biochimica et biophysica acta.	773 Anticancer research.		1,226 老年精神医学雑誌		1336 老年精神医学雑誌 = Japanese	
4		715 日本精神科看護学会誌 / 日本	713 母性衛生 / 日本母性衛生学会		1,208 母性衛生		1258 母性衛生 / 日本母性衛生学会	
5		664 Neuroreport : an international j	685 Biochimica et biophysica acta.		1,164 日本看護研究学会雑誌		1146 小児保健研究	
6		657 看護教育研究集録. 看護教育	627 老年精神医学雑誌 = Japanese		1,094 日本公衆衛生雑誌 / 日本公衆		1114 Annals of the New York Acade	
7		656 Proceedings of SPIE - the Inte	623 小児保健研究 / 日本小児保健		1,092 小児保健研究 / 日本小児保健		1108 日本公衆衛生雑誌	
8		583 Analytical biochemistry : an int	617 日本公衆衛生雑誌 / 日本公衆		1,082 Anticancer research		1002 カウンセリング研究	
9		571 日本公衆衛生雑誌 / 日本公衆	605 看護教育研究集録. 看護教育		1,023 看護教育研究集録. 看護教育		928 日本老年医学会雑誌	
10		570 The journal of biological chemi:	592 日経アーキテクチュア = Nikkei		966 カウンセリング学会 / 日本カウ		902 日本看護科学会誌	
11		565 Langmuir : the ACS journal of :	582 日本看護研究学会雑誌 / 日本		876 Proceedings of SPIE - the Inte		878 Anticancer Res.	
12		553 Journal of organometallic chen	561 The journal of comparative neu		852 Langmuir		877 学校保健研究 / 日本学校保健	
13		546 老年精神医学雑誌 = Japanese	542 Journal of applied polymer scie		838 日本看護科学会誌 / 日本看護		874 作業療法	
14		533 Tetrahedron letters.	533 Advances in experimental med		826 日本老年医学会雑誌		874 Fourth generation X-ray sourc	
15		530 The Journal of chemical physic	532 精神科治療学 = Japanese jour		812 Neuroreport		836 精神科治療学	
16		527 Biochemical and biophysical re	522 Langmuir : the ACS journal of :		797 Chemical physics letters		810 Journal of the American Geriat	
17		523 母性衛生 / 日本母性衛生学会	509 Tetrahedron letters.		790 日本心理学会大会発表論文集		801 健康心理学研究	
18		519 Advances in experimental med	506 Proceedings of SPIE - the Inte		787 Oncogene		787 日本がん看護学会誌 = Journa	
19		518 Journal of molecular biology.	505 Current biology : CB.		785 The Journal of chemical physic		776 看護教育研究集録. 看護教育	
20		512 Current biology : CB.	502 Neuroreport : an international j		785 Journal of the American Geriat		765 思春期学	
21		512 Journal of agricultural and foo	485 Analytical biochemistry : an int		770 Biochimica et biophysica acta		736 Langmuir	
22		497 Tetrahedron.	484 Synthetic communications.		767 Advances in experimental med		728 Biochimica et biophysica acta	
23		494 大阪毎日新聞 / 毎日新聞大	479 Journal of organometallic chen		766 精神科治療学		706 日本心理学会大会発表論文集	
24		494 日本看護研究学会雑誌 / 日本	473 Tetrahedron.		737 Journal of comparative neurolo		704 Journal of comparative neurolo	
25		493 カウンセリング研究 / 日本カウ	468 Journal of molecular biology.		737 Journal of agricultural and foo		698 小児科臨床	

エルゼビア社Science Direct 日本全体での年間ダウンロード数の推移



提供： エルゼビア・ジャパン

注： 1999年は9月～12月の4ヶ月のみ

主な事実

- 複写が貸借より圧倒的に多いという特殊性
- 依頼側充足率、所要日数とも信頼できる制度構築に寄与
- 1990年代には扱い量が順調に増えたが、2000年前後以降から微増の状況。貸借は一貫して増加
- 依頼先選択傾向は終始一貫
- 和雑誌への複写依頼が洋雑誌へのそれを逆転
 - － 洋雑誌依頼減は、電子ジャーナルのビッグ・ディール導入による
 - － コメディカル系和雑誌への依頼が急増⇒相殺して微増

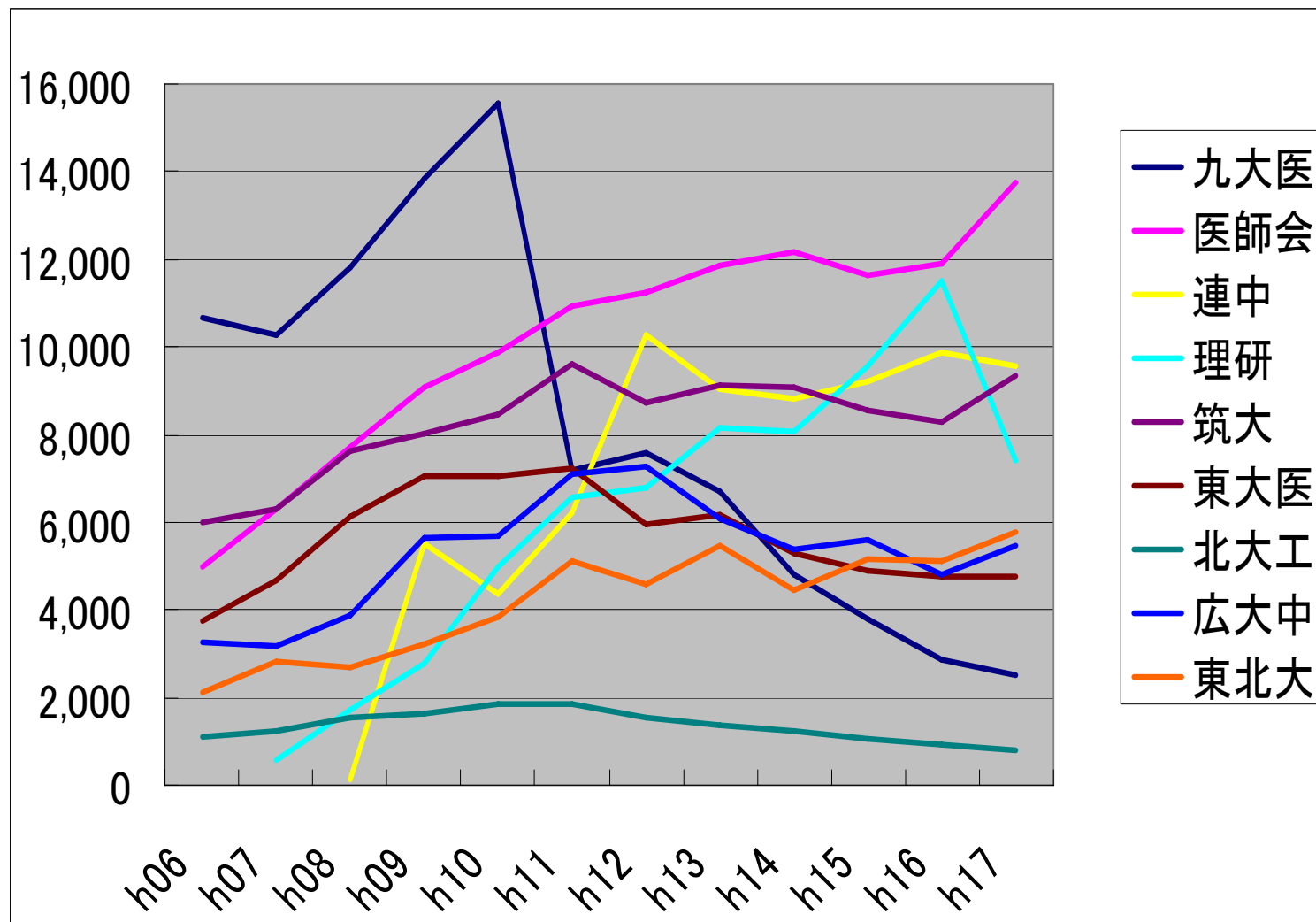
⇒大学図書館間協力の変質

- － 外国雑誌情報の共有から国内雑誌の共有へ
- － センター館中心の提供形態が消えつつある

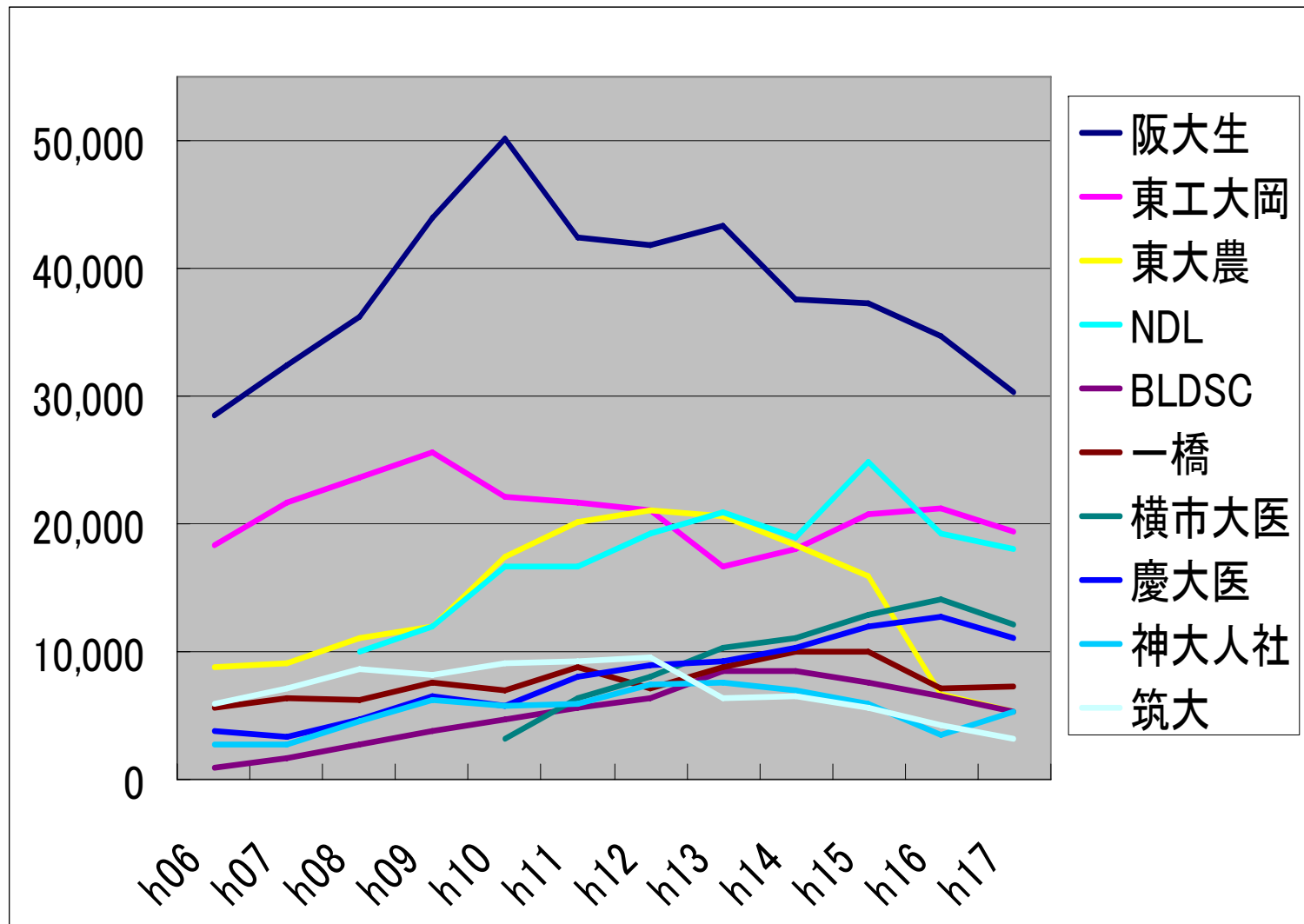
2000年以降の電子ジャーナル導入の日本的(非英米的)手法の結果

- いわゆるビッグ・ディール(出版者ごと全タイトルサイトライセンス)
- 大学図書館間の協力によるコンソーシアム形成

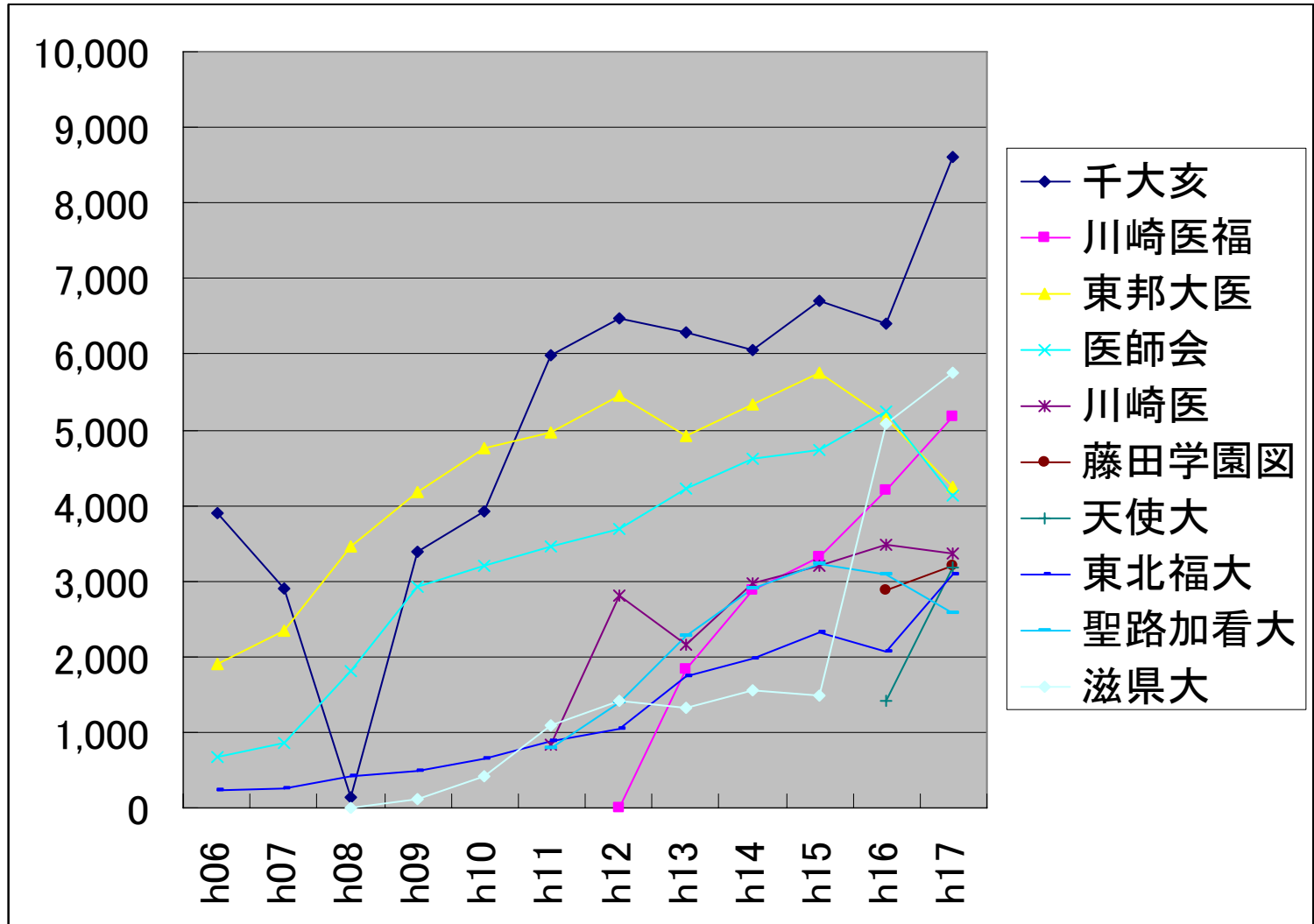
依頼上位館における変化



受付上位館における変化



最近、受付が増加した館の状況



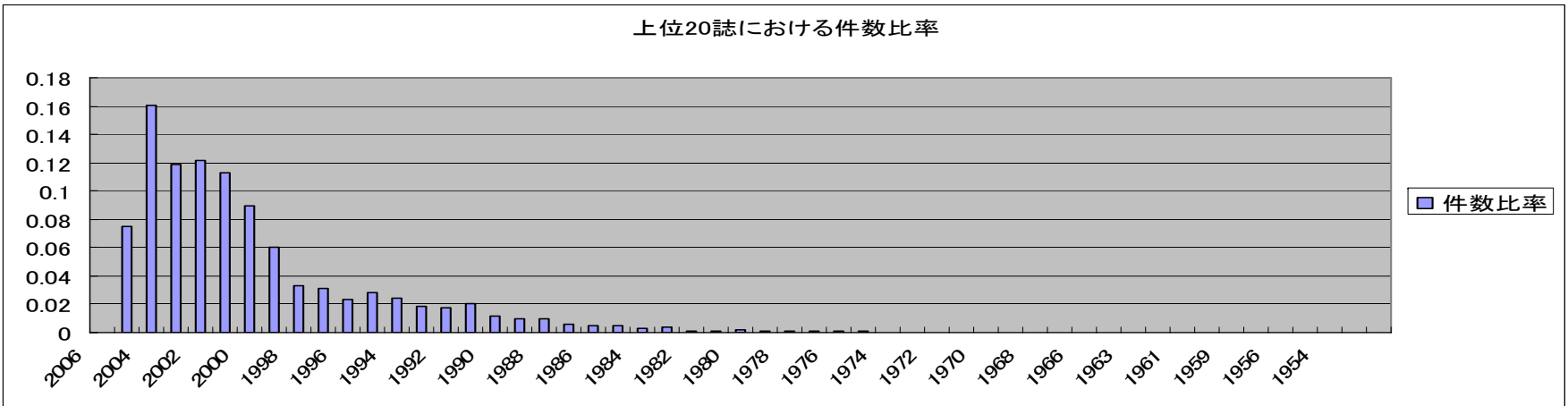
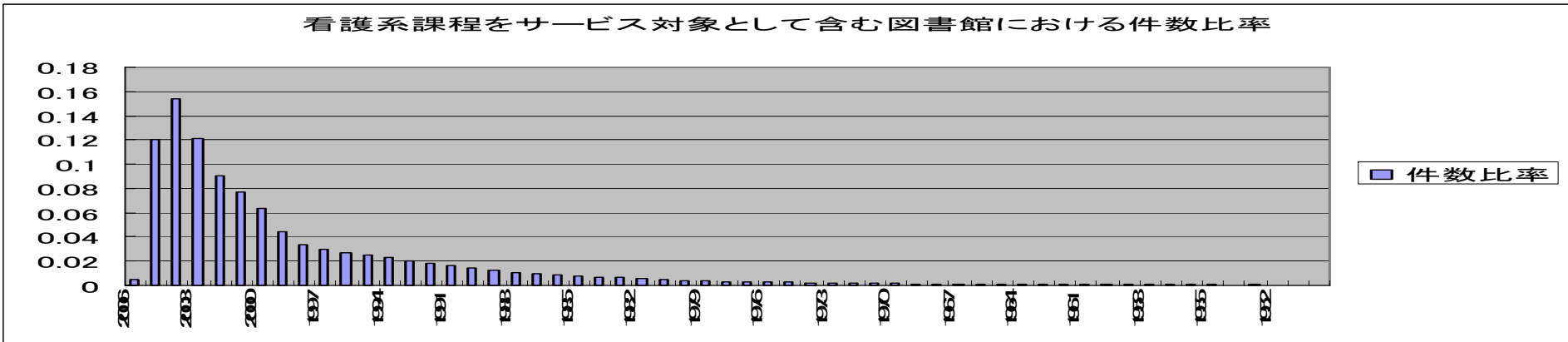
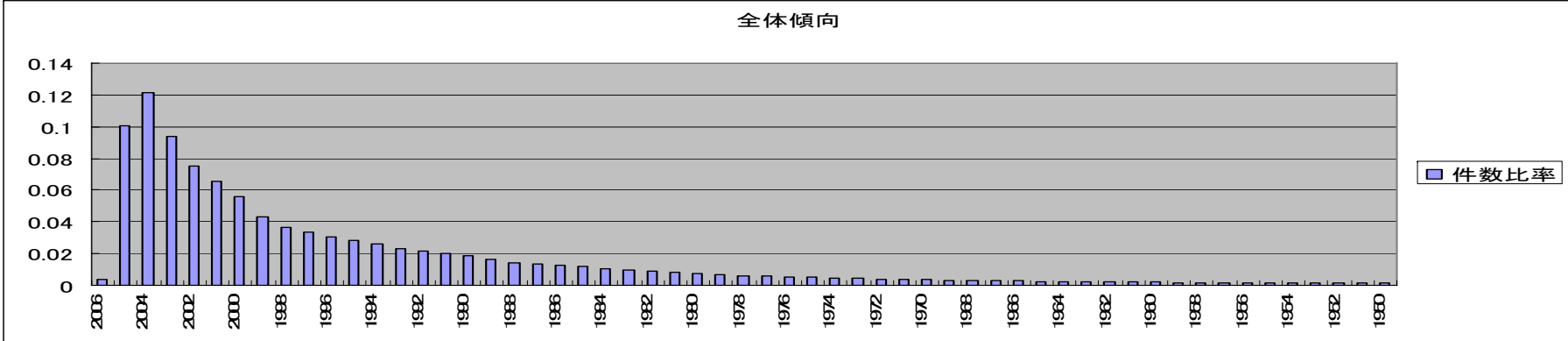
看護系図書館におけるILLの状況

- 平成12年度、平成17年度の依頼上位タイトルについて依頼館と受付館の数を比較

平成12年度、平成17年度の依頼上位タイトルについて依頼館と受付館の数を比較

タイトル	依頼館数			受付館数			所蔵館数 (参考)	受付館/ 所蔵館
	平成12年 度	平成17年 度	増加率	平成12年 度	平成17年 度	増加率		平成17年 度
日本看護科学会誌	129	202	156.6%	41	86	209.8%	126	0.68
学校保健研究	105	223	212.4%	79	138	174.7%	278	0.50
思春期学	93	186	200.0%	36	57	158.3%	86	0.66
小児科臨床	80	234	292.5%	62	99	159.7%	245	0.40
小児保健研究	141	255	180.9%	102	163	159.8%	308	0.53
日本公衆衛生雑誌	176	287	163.1%	113	176	155.8%	363	0.48
日本老年医学会雑誌	114	215	188.6%	66	98	148.5%	173	0.57
母性衛生 = Maternal health	109	245	224.8%	55	99	180.0%	164	0.60
日本看護研究学会雑誌	114	264	231.6%	79	103	130.4%	161	0.64
精神科治療学	139	241	173.4%	57	94	164.9%	180	0.52
カウンセリング研究	120	239	199.2%	51	105	205.9%	171	0.61
作業療法	110	275	250.0%	22	45	204.5%	64	0.70
日本心理学会大会発表論文集	116	228	196.6%	40	65	162.5%	108	0.60
日本がん看護学会誌	63	138	219.0%	19	42	221.1%	62	0.68
老年精神医学雑誌	136	259	190.4%	44	96	218.2%	146	0.66
健康心理学研究	137	247	180.3%	26	68	261.5%	107	0.64
看護教育研究集録. 看護教育学科, 看護教 員養成課程	58	144	248.3%	9	33	366.7%	44	0.75
日本精神科看護学会誌	76	259	340.8%	12	33	275.0%	39	0.85

需要のある文献の古さ(最近10年の割合が多い?)



看護系論文への依頼の状況

- 1000タイトルで314201件のうち、427タイトルで149104件が日本語・医療系(医療、看護、福祉、カウンセリング、ケア、心理、臨床心理を含めて)
- この426タイトルについて、2000年を見てみると、

	文献数	ページ数	メモ
日本精神科看護学会誌	254(175 + 79)	735(356+ 379)	<ul style="list-style-type: none"> ・年2号 ・学会員である先生には2004年からCD-ROMしか届いていない(図書館で買うと冊子?どちらかだけ持っている館がある) ・2005年のCD-ROMには、論文とともに発表のスライド(PPTファイル)も入っている ・2004年:243(162+81)、1045page(647+398) ・2003年:219(100+119)、975page(395+580)
日本看護研究学会雑誌	454	615	・年5号(3号が要旨集)
日本看護科学会誌	48	400	・年4号
日本がん看護学会誌	25	148	・年2号
看護教育研究収録. 看護教育学	35	265	・年1号

受付館の偏り？

h12.日本精神科		h17.日本精神科看護学会誌	
75	愛媛医短	405	群大医
66	香医大	253	香大医分
57	群大医	159	東女医大
38	福井県大	140	和医大三
37	東女医大	107	取大医
37	横市大医	94	福井県大
34	浜医大	90	梨県大看
25	北大医	85	横市大医
21	聖路加看大	78	北里看
10	分医大	62	愛媛医技大
6	北大	48	聖路加看大
2	NDL	46	島根看護短大

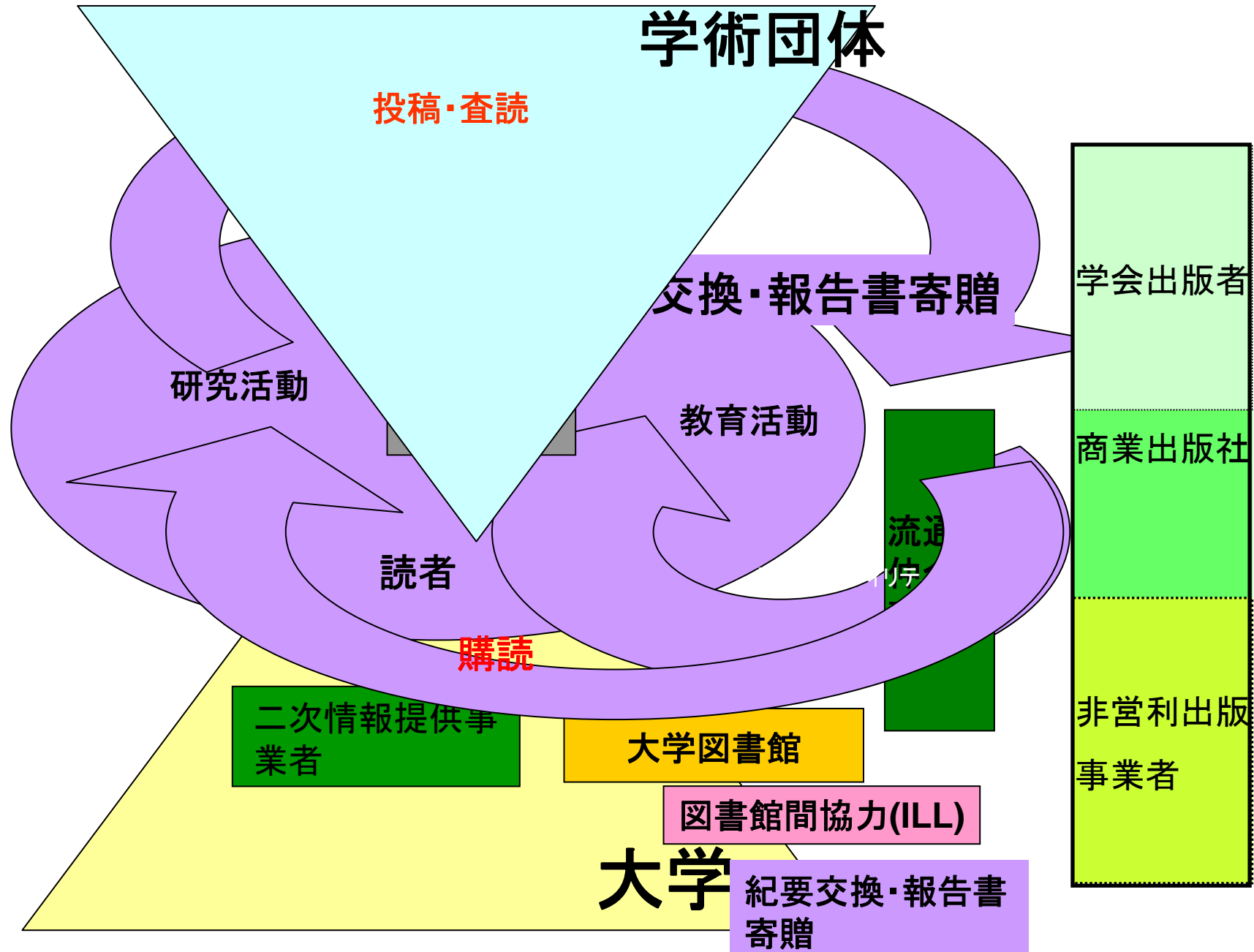
h12.母性衛生(日)		h17.母性衛生(日)	
35	香医大	133	天使大
28	日福大	71	東北大医
26	鳴教大	56	香大医分
26	佐医大	52	滋県大
20	滋県大	51	鳴教大
19	九大医	47	呉短大
18	ノ清女	46	ノ清女
17	千大亥	41	愛媛医技大
17	信大医	38	浜医大

68	広大医	122	高知リハ
38	秋大医	81	群大医
35	日福大	76	秋大医
34	医師会	57	川崎医福
27	弘大	46	中部学院大
21	群大医	34	広大医
19	阪大生	33	京文大
14	早大所沢	27	神大保健
14	札医大	26	新潟医療大

まとめ

1. 看護系(とってよければ)の文献への需要が急増していることは確実
2. 近未来の需要について設置者側が考えていないことは明白(仕方ない面もあるが)
3. ただし、需要の実態についてはかならずしもまだ解明されていない。
4. 他方で、「電子的出版」が最大の費用対効果を持つことは自明であり、かつ、世界の趨勢となっていることを前提として検討する必要がある。

学術コミュニケーションの20世紀的理念型



電子ジャーナル以降の世界

- 出版者は、出版物をインターネットに接続されたサーバにおく
- 利用者は、サーバにアクセスする
- 出版者は、利用者を認証する
 - サイトによる認証
 - ユーザによる認証
- 認証された利用者は、ファイルをダウンロードして、WWWブラウザで閲覧する
- 必要があれば、それをプリントする

実際に起きていること(購読)

- 価格上昇の鈍化
 - 大手出版者
 - 中小出版者
 - プライス・キャップ⇒問題の論文総量の増加
- 代理店の省略現象
 - コンソーシアム交渉
 - ビッグ・ディール
 - DDP (Deeply discounted price for print)

